

【質問】	【回答】
eMSはICT土工の中でも出来形管理に適用できるシステムと理解しました。今後、盛土の品質管理(GNSSによる盛土の締固め管理、品質データのBIM/CIMモデルへの属性情報付与等)に対応できるようなシステム改良の予定はあるのでしょうか？	現時点で盛土の品質管理に対応した改良の予定はございません。
現在国土交通省の直轄工事では3Dデータが参考資料として発注されていると理解しています。契約図書は2次元図面となっているので2次元図面の整合を照査せざるをえない状況であり、結果2度手間になる可能性が高いと感じています。将来的に3dデータが契約用のデータとして位置づけられれば活用の余地があると感じました。	国土交通省のロードマップでは数年先に3次元モデルが主で2次元図面は必要に応じて利用といった流れになっておりますので、いずれはご指摘のような状況になると考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ・ 施工ステップ図の作成機能について例えば施工ステップ途中で重機を配置したり、土留めで締めきったりといった施工ステップの作成は可能でしょうか。 ・ 盛土の擦り付けについて通常現地盤は点群サーフェスにて作成しているとおもいます。その際、伐採前のサーフェスと伐採後のサーフェスがデータ内にある状態で伐採後のサーフェスにターゲットを切り替えられるのでしょうか？ 	重機の配置や構造物の配置は出来ません。 使用するサーフェスを指定できますので、切り替え可能です。
建築工事の土工事（基礎の掘削工事）のBIMモデルにeMSを使用してICT建機に使えるように数学座標や世界座標を選択して利用できるようになりますか？	BIMでの活用は可能だと思いますが、J-LandXML形式でモデルを作成していないのではないのでしょうか。そうなると活用できません。
たいへん興味がありますが、Civilでの実運用に達していないため無料キャンペーンが無駄になりそうです。半年後にもうワンチャン、無料キャンペーンお願いできませんでしょうか。	本キャンペーンの結果を踏まえ、2回目の是非は判断させていただきます。
非常に有意義なセミナーだったと感じました。一つ質問なのですが、eMSで設計データを作成した際に、法面や側溝などを区別するために色を付けたりすることは可能でしょうか？ご回答よろしくお願いします。	色は通常のCAD操作（レイヤ色など）として付けることができます。
ICT施工における工事完成時の設計変更作業の対処方法（変更図、数量変更の作成）は現在どのように行っている知りたい。	出来形を計測し、その結果を元に承認あるいは変更を行っていると思います。
現況地山形状に違いがあると切土と盛土の境界の位置が変わってしまうと思いますが、そのような場合にコリドーだけでは設計形状が決まらないケース等が想定されます。設計と施工が分離している現状において今回のアプリケーションだけで解決できるのでしょうか？	切土でも盛土でも指定したサーフェスに擦りつくようにプログラミングしていますので、解決可能です。
eMSはコリドー機能を使用しないで作成したモデルや、他ソフトで作成されたJ-LandXMLでも対応してますか？	はい。大丈夫です。但し、他ソフトを使用した場合にAutoCADに引継いでいない情報がある場合、その状態は引き継がれてしまいます。
ICT土工データ連携に資する便利なシステムだと思いました。想定されている利用者は、施工者様でしょうか？	ICT土工データは測量会社様や地方のコンサルタント様が代行して作成しているケースもあろうかと思えます。そのような方にもお使い頂きたいと思っています。